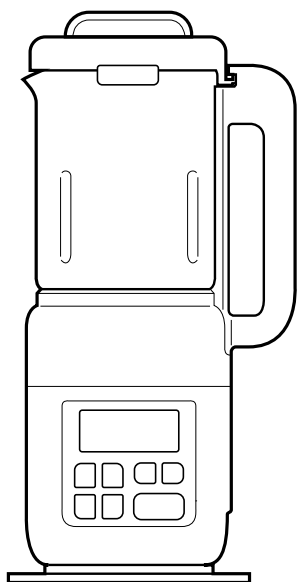


siroca

ヒーター機能付き ブレンダー

SM-S151 / SM-S151S



取扱説明書 保証書つき

このたびはシロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	5
本機でできること	7
オートメニューで作る	8
時間を設定して調理する	11
フラッシュ機能でかくはんする	12
お手入れのしかた	13
故障かなと思ったら	17
スープジャーの取り扱いについて	18
仕様	22
部品・消耗品	22
保証とアフターサービス	23
保証書	24

会員登録・機器登録でもっと楽しく便利に

シロカクラブ

新規会員募集中 登録料・年会費無料

うれしい会員特典

- 部品・消耗品が最大20%OFF*
シロカオンラインストア本店で使える
- ポイント 500円分プレゼント
- 製品のお役立ち情報、新製品情報などお届け

*割引率は部品・消耗品によって異なります。一部対象外の製品もございます。



登録はこちら
所要時間:約2分



シロカレシピサイト

今日から使える、
かんたんおいしいレシピが満載
<https://siroca.co.jp/recipe/>

スマートフォンやパソコンで
ご覧いただけます。



この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。

日本国内専用

USE ONLY IN JAPAN

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。
お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。



警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子ども、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体やポット底面を水に浸けたり、水をかけたりしない
ポットを流し台など水にぬれた場所に置かない
ショート・感電の原因になります。



接触禁止

蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない
やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

調理以外の目的に使用しない
破損・故障の原因になります。



禁止

落としたり、衝撃を加えたりしない
感電・故障の原因になります。



禁止

ポットの中にスプーンやはしなど調理材料以外のものを入れて運転しない
故障・けがの原因になります。



禁止

カッターは鋭利なため、直接手を触れない
けがの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。
<異常・故障例>

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

業務用として使わない
故障の原因になります。



子どもが本製品で遊ぶことがないように注意する

警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。

注意

設置に関する注意事項



丈夫で安定した水平な場所に置く
騒音や振動、がたつきの原因になります。



禁止

不安定な場所や油などが付着したすべりやすい場所で使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないください。

布、ビニール、紙、おぼんなど



禁止

壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。



禁止

水のかかるところや火気の近くで使わない

変色・変形・感電・火災の原因になります。

注意

使用上の注意事項



禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れない
加熱を行うオートメニューで調理したとき、調理後のポットは大変熱くなっています。ポットのハンドルとふたの取っ手以外の部分に触れると、やけどの原因になります。ふたを開けるときは高温の蒸気に注意してください。



禁止

専用のポット以外は使用しない
発火・故障・やけどの原因になります。



禁止

空(食材なし)の状態や、液体が200 mL未満での運転をしない
破損・故障の原因になります。レシピブックに記載されている調理以外を行うときは、最少量を守って使用してください。



お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う
けがの原因になります。



禁止

水などの液体を入れず、材料だけで運転しない
故障・けがの原因になります。



禁止

運転中にふたを取り外さない
吹きこぼれによるやけど・けが・故障の原因になります。



禁止

調理中は本体を移動させない
ふたを持って移動しない
やけど・故障の原因になります。



禁止

直火にかけたり、電気ヒーターや電磁調理器などの上にのせない
火災・故障の原因になります。



禁止

ポットを電子レンジやオープンに入れない
火災や故障の原因になります。



禁止

ポットを冷蔵庫や冷凍庫に入れない
破損の原因になります。



禁止

塩素系成分を含んだ洗剤・漂白剤は使用しない
サビが発生し、カッターや本体内部の金属の破損・ひび割れの原因になります。



禁止

ポットのガラス部分の割れ防止のため、以下のような使いかたはしない

- 強い衝撃を与えない
- 急激に熱したり冷やしたりしない
- 傷がつくような取り扱いを避ける
- 破損した場合、破片が細片となって激しく飛散する特性があるので注意する
- 直火に当てない



使用前・使用後は必ず部品の点検を行う

長期間使用すると、刃こぼれなどが発生することがあります。破損・ひび割れを発見したときは使用しないでください。また刃はとがなくてください。故障や事故の原因になります。修理はお買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

ポットの目盛り以上に材料を入れない
豆乳を作る際はレシピブックに記載されている分量を守ってください。吹きこぼれによるやけど・けが・故障の原因になります。材料や分量、下ごしらえが適切ではない場合、吹きこぼれや振動を起こすことがあります。様子を見ながら調理してください。



禁止

電源コードが通行や動作の妨げになるような場所で使用しない
電源コードが引っ掛かり、製品が落下して、けがや故障の原因になります。



禁止

直射日光が長時間あたる場所で使わない
変色・故障の原因になります。



禁止

本体やポットの上に物をのせない
ふきんなどで蒸気口をふさがない
やけどの原因になります。



禁止

他の電気機器に蒸気が当たる場所で使用しない
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。



調理後、ポットを持ち上げたり持ち運ぶ際はハンドルを持つ
やけどの原因になります。



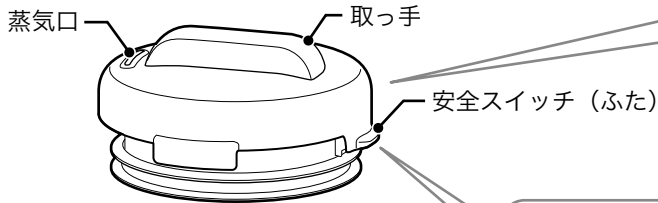
禁止

屋外で使用しない
故障の原因になります。

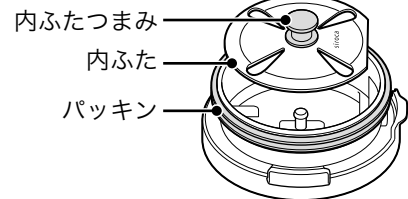
各部のなまえ

ふた

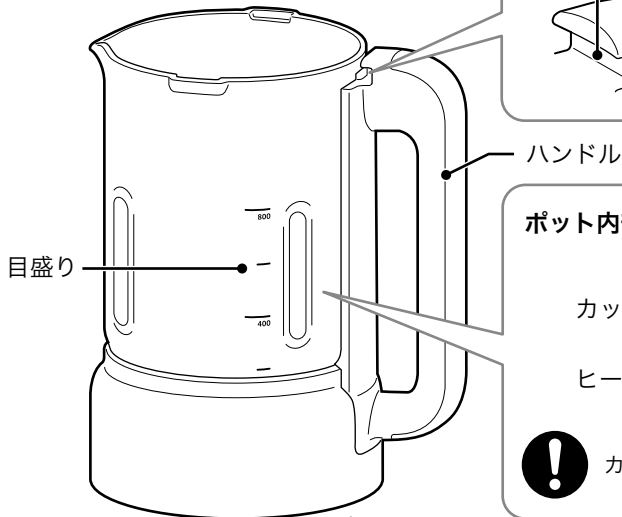
水洗い可



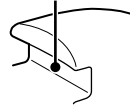
ふた (裏側)



ポット



安全スイッチ (ポット)

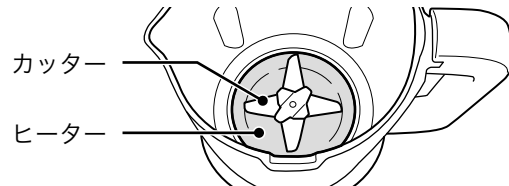


安全スイッチについて

ふたとポットに安全スイッチがあり、ふたが取り付けられていないと動作しないようになっています。ふたを外したあとはポットにのせたり、ふたを傾けてポットの上に置いたりしないでください。安全スイッチが誤検知の原因になります。

ポット内部

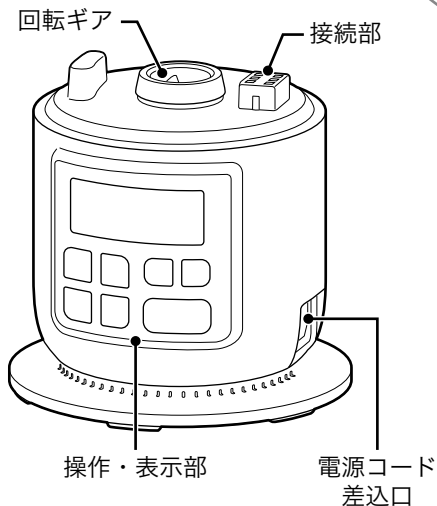
水洗い可



カッターは取り外せません。

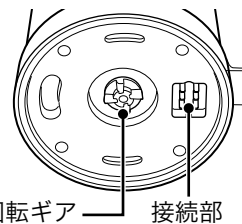
本体

水洗い不可

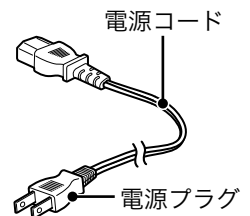


ポット底面

水洗い不可



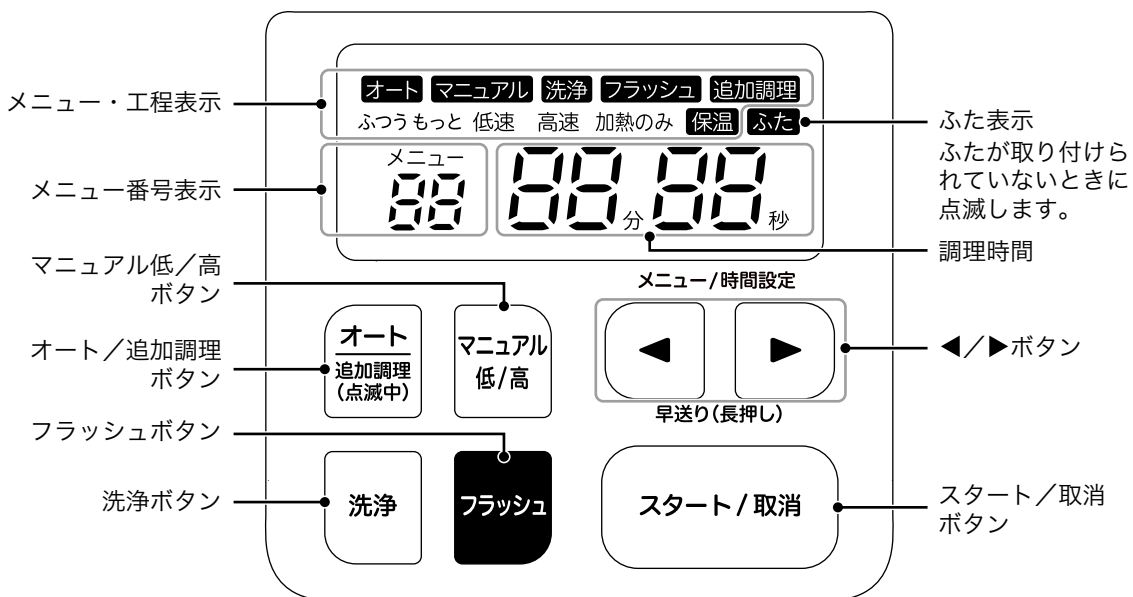
ポットを丸ごと水につけたり、ポット底面に水をかけたりしないでください。故障の原因になります。



ポット底面や本体のポット取り付け部分に水滴や食材が付着した場合は、すぐに拭き取り、付着したまま放置しないでください。故障の原因になります。

各部のなまえ

操作・表示部



名称	使用用途
オート/追加調理ボタン	オートメニューで調理するときに押します。 調理終了後、調理時間を追加したときに押します。
マニュアル低/高ボタン	時間を設定して調理するときに押します。低速/高速を選べます。
フラッシュボタン	ボタンを押している間だけ運転します。
洗浄ボタン	ポットを洗浄するときに押します。
◀/▶ボタン	メニューを選ぶとき、調理時間を設定するときに押します。長押しすると早く進みます。
スタート/取消ボタン	運転を開始するとき、運転を取り消すときに押します。

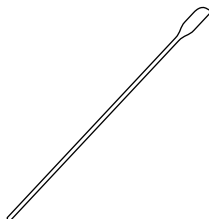
付属品

▶ お手入れブラシ



▶ 「お手入れのしかた」 13 ページ

▶ ヘラ



ポットの食材を混ぜたり、別の容器に移すときなどに使います。

▶ スープジャー

(SM-S151Sのみ)



▶ 「スープジャーの取り扱いについて」 18 ページ

本機でできること

材料を入れたら自動で調理(加熱・かくはん)するオートメニューで、以下のメニューが作れます。オートメニューの調理時間は目安です。食材や調理環境によって加熱時間が変わるため、オートメニューの調理時間が前後することがあります。

オートメニューの他に、好みの時間を設定できるマニュアル機能 **11ページ**、フラッシュ機能 **12ページ**、温めなおし機能 **10ページ** があります。

作れるメニュー		選ぶオートメニュー	調理時間 (ふつう/もっと)	オートメニューの動作 ○：あり、－：なし			
				加熱	かくはん	保温	追加調理
スムージー	冷凍した食材で作る	1フローズンスムージー	2分/4分	－	○	－	○ 最長1分、 3回まで
	常温・冷蔵の食材で作る	2スムージー	1分30秒/3分				○
	食材をあたためて作る	3ホットスムージー	12分				－
豆乳	水に浸した大豆から作る	4豆乳 ふつう	25分	○	○	－	－
	乾燥大豆から作る	4豆乳 もっと	30分				○
スープ	具材の形が残ったスープ	5スープ ふつう	40分	○	○	－	○ 最長5分、 3回まで
ポタージュ	なめらかで濃度の高いスープ	5スープ もっと	30分				－
ジャム		6ソース ふつう	40分	○	○	－	○ 最長5分、 3回まで
パスタソース		6ソース もっと	40分				
おかゆ、リゾット		7おかゆ	40分/45分	○	○	○	○ 最長5分、 3回まで
薬膳茶		8薬膳 ふつう	10分				
薬膳料理(おかゆ、スープ)		8薬膳 もっと	40分	○	○	－	－
野菜ペースト		9なめらか	12分				
ヨーグルト(発酵)		10ヨーグルト	1～6時間 (1時間ごと)	○	○	－	－
こうじ・味噌(発酵)		11こうじ	1～10時間 (1時間ごと)				

知っておいていただきたいこと

▶ 使用上のご注意

次のような調理を行ったり、材料を使用したりすることはできません。禁止材料を入れると、故障や破損の原因になります。

- 作れないもの
 - ・ 野菜や果物のみを絞ったジュース
 - ・ 肉類・魚類のミンチ
 - ・ クラッシュアイス、かき氷
- できないこと
 - ・ 野菜のみじん切り、すりおろし、薄切り、せん切り
 - ・ 非常にかたい食品の粉砕
- 禁止材料(かくはんを行わないオートメニューでは使用可)
 - ・ 粘り気の強いもの(とろろいもなど)
 - ・ かたいもの(市販の氷、乾物など)

次のようなことは行わないでください。故障の原因になります。

- 目盛りを超えて材料を入れる
- 空(食材なし)の状態や、液体が200 mL未満で運転する

▶ 下ごしらえについて

- 材料は2～3 cm角を目安に切る。かたい食材はレシピブックの記載を参考に小さめに切る。
- 種やヘタは取り除く。
- 氷は家庭用製氷機で作った氷(2.5 cm角以下)、5粒程度を使う。

▶ 食材の入れかた

やわらかいものから順に入れます。かたいものを先に入れると、食材がカッターに引っかかり、運転が止まることがあります。

- ① 液体
- ② 水分の多い食材・やわらかい食材
- ③ 水分の少ない食材・かたい食材
- ④ 家庭用製氷機で作った氷

オートメニューで作る

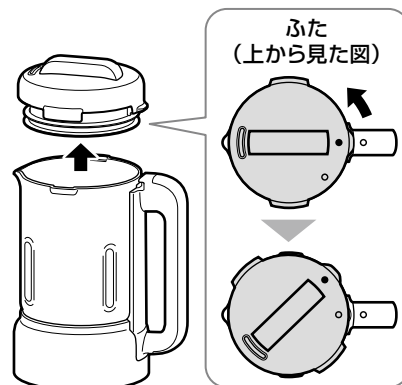
ご使用前にポット、ふたを洗い、ふたに内ふたとパッキンを取り付けてください。

→「お手入れのしかた」13ページ

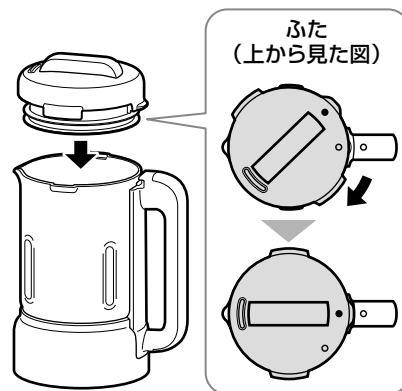
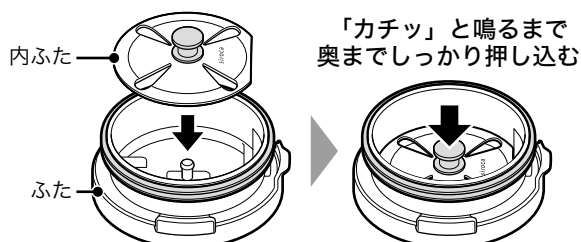
1 ポットを本体から取り外し、ふたを回して開け、ポットに食材を入れる

ご注意

- ポットを流し台など水にぬれた場所に置かないでください。
底面がぬれて故障の原因になります。
- ポットの目盛り以上に材料を入れないでください。豆乳を作る場合はレシピブックに記載されている分量を守ってください。



2 内ふたとパッキンが正しく取り付けられていることを確認し、ふたを閉める



<必ず確認してください>

内ふたが正しい向きで取り付けられていること、内ふたが外れないことを確認して、ふたを閉めてください。

内ふたが斜めになっていたり、つまみがカチツとなるまで押し込まれていなかったりすると、運転中の振動で内ふたが外れ、落下することがあります。

3 ポットを本体にセットする

ポット下部の「siroca」ロゴが本体正面(操作部の中央)になる向きでポットを持ち、ゆっくり本体の上を下ろしてセットします。

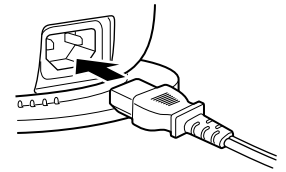
ご注意

- ポットを誤った向きでセットしようとする、ポット底面の回転ギアや接続部が本体の取り付け部に当たったり、こすれたりして破損の原因になります。
- ポットと本体のあいだに食品カスや汚れ、異物がないことを確認してください。



4

電源コードを本体に差し込み、
電源プラグをコンセントに差し込む



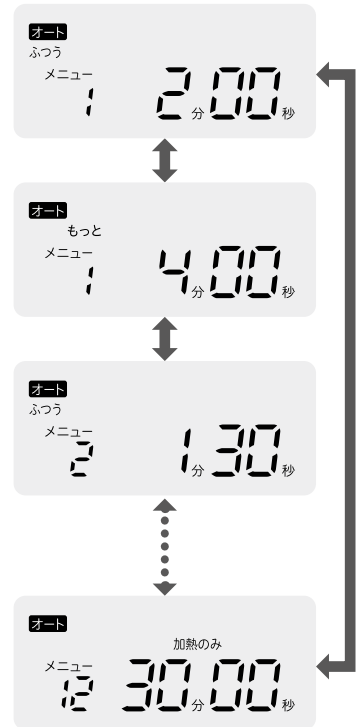
5

《◀》 / 《▶》ボタンを押して、オートメニューを選ぶ

オートメニューが選ばれていない([オート]が表示されていない)ときは、《オート》ボタンを押してからオートメニューを選びます。《◀》/《▶》ボタンを長押しすると早く進みます。選んだオートメニューの調理時間が表示されます。かくはんしないメニューは[加熱のみ]が表示されます。

オートメニュー一覧 ○：あり、－：なし

オートメニュー	ふつう	もっと	時間設定
1フローズンスムージー	○	○	—
2スムージー	○	○	
3ホットスムージー	—	—	
4豆乳			
5スープ			—
6ソース	○	○	
7おかゆ			
8薬膳			—
9なめらか			
10ヨーグルト			○ 1～6時間 (1時間ごと)
11こうじ	—	—	○ 1～10時間 (1時間ごと)
12温めなおし			—



(オートメニュー 10、11のみ)調理時間を変更する場合

- 1 《オート》ボタンを長押し(約3秒)する
- 2 《◀》 / 《▶》ボタンを押して、調理時間を選ぶ



6

《スタート・取消》ボタンを押す

運転が始まり、調理の残り時間が減っていきます。加熱を行うオートメニューは、一定温度まで加熱すると残り時間の表示に変わります。加熱を行うオートメニューで調理中は、蒸気口から蒸気が出ます。蒸気口に触ったり、手や顔を近づけないでください。

途中で運転を停止したいとき
《スタート/取消》ボタンを押します。

食材の入れ忘れや食材をかきまぜるために一時停止したいとき
ポットを本体から取り外し、ふたを開けて食材を追加します。
5分以内に本体にポットを戻し、《スタート/取消》ボタンを押すと調理を再開します。



ふたが閉まっていないと、
[ふた]が点滅し、運転できません。ふたが閉まっているか確認してください。

7

ブザーが鳴り、調理が終了したらポットを本体から取り外す

回転が止まっていることを確認してから、ポットを取り外してください。

おしらせ

- 材料や分量、下ごしらえの状態、環境などにより、仕上がりが異なる場合があります。お好みにより調整してください。加熱やかくはんが足りない場合は追加調理を行ってください。➔「追加調理について」10ページ

ご注意

- 加熱を行うオートメニューで調理したとき、調理後のポットは大変熱くなっています。ポットのハンドルとふたの取っ手以外の部分に触れないでください。
- ふたを開けるときは高温の蒸気に注意してください。
やけどの原因になります。
- オートメニュー 1 (フローゼンスムージー)、2 (スムージー)の連続運転は2回までとし、それ以上連続して運転するときは30分以上おいてから使用してください。

▶ 保温について ➔「本機でできること」7ページ

保温ありのメニューは調理終了後30分間保温します。保温中は、保温開始からの経過時間が表示されます。オートメニュー 7 (おかゆ)、8 (菜膳)は自動的に保温になりますが、おかゆは時間がたつと、のり状になるため、お早めにお召し上がりください。

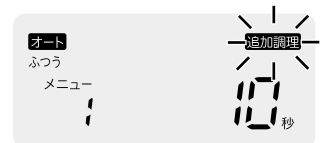


▶ 追加調理について ➔「本機でできること」7ページ

追加調理ありのメニューは3回まで連続して追加調理できます。メニューにより設定できる時間が異なります。

① [追加調理]が点滅中に《オート/追加調理》ボタンを押し、《◀》/《▶》ボタンで時間を設定する

② 《スタート/取消》ボタンを押す



▶ 温めなおしについて

スープやお茶を温めなおします。乳製品を多く含むスープやおかゆは焦げることがあるため、様子を見ながらあたためてください。

オートメニュー 12を選び、《スタート/取消》ボタンを押します。30分間加熱します。かくはんは行いません。

8

使用后、すぐにお手入れする

➔「お手入れのしかた」13ページ

| 時間を設定して調理する

時間を指定してかくはんするときに使います。加熱は行いません。

1 ポットを本体にセットし、電源を入れる

「オートメニューで作る」手順1～4を参照してください。 **8 ページ**

2 《マニュアル 低/高》ボタンを押す

ボタンを押すごとに[低速]、[高速]が切り替わります。



3 《◀▶》 / 《▶▶》ボタンを押して、調理時間を設定する

10秒～2分まで10秒単位で設定できます。

《◀▶》 / 《▶▶》ボタンを長押しすると30秒単位で進みます。

4 《スタート/取消》ボタンを押す

運転が始まり、調理の残り時間が減っていきます。

ふたが閉まっていないと、[ふた]が点滅し、運転できません。ふたが閉まっているか確認してください。

途中で運転を停止したいとき

《スタート/取消》ボタンを押します。

食材の入れ忘れなどで一時停止したいとき

ポットを本体から取り外し、ふたを開けて食材を追加します。

5分以内に本体にポットを戻し、《スタート/取消》ボタンを押すと調理を再開します。

5 ブザーが鳴り、調理が終了したらポットを本体から取り外す

回転が止まっていることを確認してから、ポットを取り外してください。

6 使用後、すぐにお手入れする

➔ 「お手入れのしかた」 **13 ページ**

| フラッシュ機能でかくはんする

ボタンを押している間だけかくはんします。短く断続的に運転することによって、かたい材料などを少しずつかくはんできます。加熱は行いません。

1 ポットを本体にセットし、電源を入れる

「オートメニューで作る」手順1～4を参照してください。 **8ページ**

2 《フラッシュ》ボタンを押す

[フラッシュ]が表示されます。



3 かくはんを始めるには、《フラッシュ》ボタンを押す

ボタンを押している間、かくはんします。最長動作時間は1分です。
ボタンを離すと停止します。

ご注意

- フラッシュ機能はカッターが勢いよく高速で回転するため、液体が多いと液体が飛び散ることがあります。

4 ポットを本体から取り外す

回転が止まっていることを確認してから、ポットを取り外してください。

5 使用後、すぐにお手入れする

→ 「お手入れのしかた」 **13ページ**

お手入れのしかた

清潔な状態を保つため、ご使用ごとにお手入れしてください。
ご使用後はできるだけ早めにお手入れしてください。

ご注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを本体から取り外してから行ってください。
- 本体・ポットが十分に冷めてからお手入れしてください。
やけどの原因になります。
- 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。
表面を傷つける原因になります。
- 台所用中性洗剤・食器洗い機専用洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンは使わないでください。
表面を傷つける原因になります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。

ポットの予洗い

ポットのお手入れをする前に、洗浄機能で予洗いすることをおすすめします。
加熱とかくはんによりポット内に残った食材を浮かし、お手入れしやすくします。

汚れ具合により[ふつう]、[もっと]を選びます。

- スムージーなど軽い汚れのとき、調理後すぐに洗うとき →ふつう(12秒、かくはんのみ)
- おかゆや豆乳など粘度の高い汚れのとき、焦げ付いたとき →もっと(6分30秒、加熱+かくはん)

1 ポットに水(またはぬるま湯)を400 mL程度入れ、ふたを閉めて本体にセットする
ふたに内ふたとパッキンを必ず取り付けてください。

▶ 汚れがひどいときは

食器洗い機専用洗剤(液体・粉末)を入れます。

ご注意

- 台所用中性洗剤は使用しないでください。
泡が大量に発生し、吹きこぼれの原因になります。

2 電源コードを本体に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む

3 《洗浄》ボタンを押す

[洗浄]が表示されます。

ボタンを押すごとに[ふつう]、[もっと]が切り替わります。

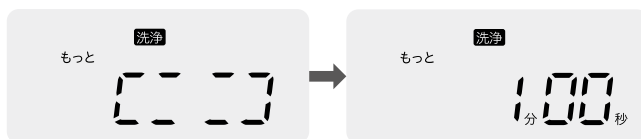


お手入れのしかた

4 《スタート/取消》ボタンを押す

[ふつう]の場合、かくはんを数回繰り返し、洗浄します。

[もっと]の場合、加熱しながらかくはんを行います。一定温度まで加熱すると残り時間の表示に変わります。



ふたが閉まっていないと、[ふた]が点滅し、運転できません。ふたが閉まっているか確認してください。

途中で運転を停止したいとき

《スタート/取消》ボタンを押します。

一時停止したいとき

ポットを本体から取り外します。

5分以内に本体にポットを戻し、《スタート/取消》ボタンを押すと洗浄を再開します。

5 ブザーが鳴り、洗浄が終了したらポットを本体から取り外す

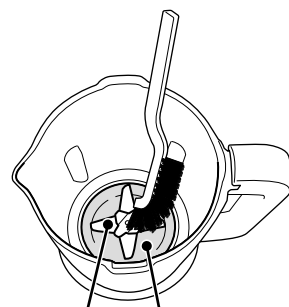
回転が止まっていることを確認してから、ポットを取り外してください。

ポット

ポット内部： 水洗い可

ポット内側のガラス部分はスポンジなどのやわらかいもので台所用中性洗剤を使って水洗いします。

カッターとヒーター部はお手入れブラシを使って洗い、水ですすぎます。



カッター ヒーター

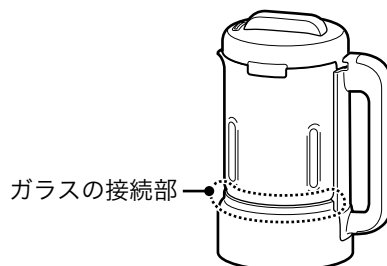
ご注意

- カッターは取り外せません。カッターは鋭利なため、直接手を触れないよう注意してください。

ポット外側のガラス部分： 水洗い可

スポンジなどのやわらかいもので台所用中性洗剤を使って水洗いします。

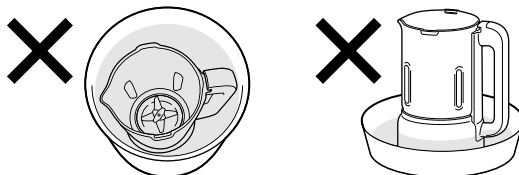
ポット底面やガラスの接続部に水がかからないよう注意してください。



ガラスの接続部

ポット底面： 水洗い不可

固く絞ったぬれふきんで汚れをふき取ります。



ご注意

- ポットを丸ごと水につけたり、ポット底面に水をかけたりしないでください。
故障の原因になります。
- 回転ギアや接続部にスプレー式の洗剤を直接かけたり、水分を多く含んだ布で拭かないでください。
故障の原因になります。
- 水滴や食材が付着した場合は、すぐに拭き取り、付着したまま放置しないでください。
変色の原因になります。

ふた

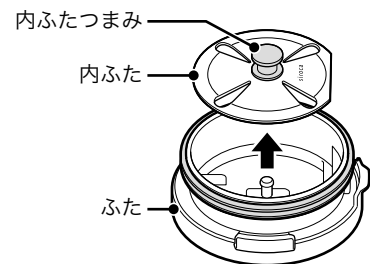
ふたから内ふたとパッキンを外し、スポンジなどのやわらかいもので台所用中性洗剤を使って水洗いします。

ご注意

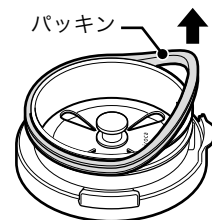
- ふたのつけ置き洗いはしないでください。

▶ 内ふたとパッキンの外しかた

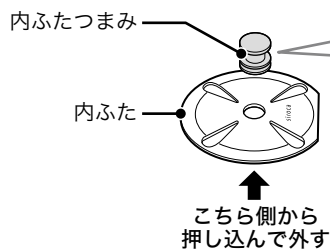
- 1** 中央部の内ふたつまみを持って、
ふたから内ふたを取り外す



- 2** ふたのパッキンを取り外す



- 3** 内ふたから内ふたつまみを取り外す



✕ この部分を
引っ張らない
破損の原因になります

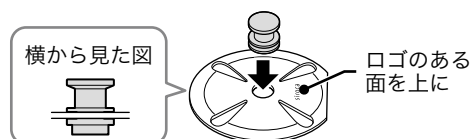
こちら側から
押し込んで外す

| お手入れのしかた

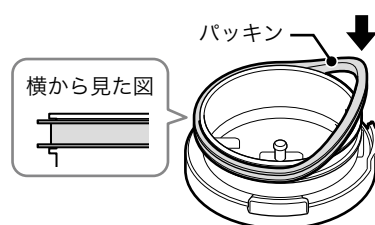
▶ 内ふたとパッキンの取り付けかた

水洗いしたあと、よく乾かしてから取り付けてください。

① 内ふたに内ふたつまみを取り付ける

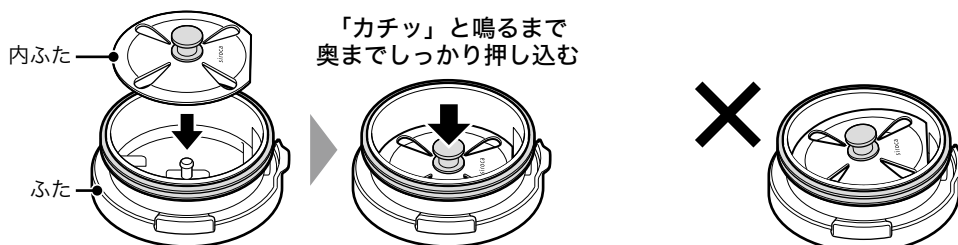


② ふたにパッキンを取り付ける



③ ふたに内ふたを取り付ける

「カチッ」と鳴るまで内ふたを押し込んでください。



<必ず確認してください>

内ふたが正しい向きで取り付けられていること、内ふたが外れないことを確認してください。

内ふたが斜めになっていたり、つまみがカチッとなるまで押し込まれていなかったりすると、運転中の振動で内ふたが外れ、落下することがあります。

本体

固く絞ったぬれふきんで汚れをふき取ります。

ご注意

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしないでください。
故障の原因になります。
- 回転ギアや接続部にスプレー式の洗剤を直接かけたり、水分を多く含んだ布で拭かないでください。
故障の原因になります。

故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

こんなとき	ここを確認してください
運転しない	<ul style="list-style-type: none">電源プラグが抜けていませんか。 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。ふたが正しく取り付けられていますか。 ポットにふたを取り付け、ふたの●マークとハンドル上部の○マークが合う位置まで回してふたを締めてください。電源コードが本体にきちんと差し込まれていますか。 電源コードを奥までしっかり差し込んでください。
運転途中で停止した	<ul style="list-style-type: none">調理できない食材を入れていませんか。➡ 7ページ 調理できない食材を取り除いてください。ポットの目盛り以上に材料を入れていませんか。 豆乳を作る場合はレシピブックに記載されている分量を守ってください。食材が大きかったり、水分が少なかったりなどで、混ぜにくい状態になっていませんか。➡ 「本機でできること」 7ページ連続して運転していませんか。 オートメニュー 1 (フローズンスムージー)、2 (スムージー)の連続運転は2回までとし、それ以上連続して運転するときは30分以上おいてから使用してください。
吹きこぼれる	<ul style="list-style-type: none">ふたに内ふたとパッキンを取り付けていますか。 ふたに内ふたとパッキンを取り付けてください。 ➡ 「お手入れのしかた」 13ページポットの目盛り以上に材料を入れていませんか。 豆乳を作る場合はレシピブックに記載されている分量を守ってください。
粉碎があらい	<ul style="list-style-type: none">材料が大きすぎませんか。 かたい食材はなるべく細かくカットしてください。
大きな粉碎音がる	<ul style="list-style-type: none">不安定な場所に設置していませんか。安定した水平な場所に設置してください。かたい材料を粉碎するときは大きな音がします。
運転中にポットや本体がゆれる	<ul style="list-style-type: none">故障ではありません。ポットと本体が分離式のため、カッターの回転に合わせてゆれることがあります。
振動が大きい	<ul style="list-style-type: none">材料を多く入れすぎたり、材料が大きすぎたり、禁止材料を入れていませんか。 量を減らす、材料を小さくするなど調整してください。冷凍の食材の場合、表面の氷が溶けて食材同士がくっついて大きなかたまりになると、運転中に激しい振動を起こすことがあります。オートメニューで調理する前にフラッシュ機能で軽く粉碎する、ヘラなどで食材を分離するなどしてください。食材がカッターに引っかかっていますか。引っかかっている食材をヘラなどで取り除いてください。
C01が表示される	<ul style="list-style-type: none">ポットが空の状態でも運転すると、過熱による事故や故障を防ぐために空だき防止機能が働き、「C01」が表示されます。《スタート/取消》ボタンを押し、本体を充分に冷ましてから再度運転してください。
E01、E02が表示される	<ul style="list-style-type: none">電源プラグを抜き、30分以上おいてから使用してください。30分以上おいても「E01」、「E02」が表示される場合は故障の可能性があります。電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。
E03が表示される	<p>モーターに負荷がかかり過熱すると、製品の故障を防ぐために、運転時間に関係なく自動的に運転を停止し、「E03」が表示されます。電源プラグを抜き、30分以上おいてから使用してください。</p>

| スープジャーの取り扱いについて

安全上のご注意

ご使用になるときは、やけどや飲食物の変質・変色や保温容器の故障・汚れを防ぐために次のことは必ずお守りください。

警告



乳幼児には使用させない。乳幼児の手の届くところには置かない
やけど・けがの原因になります。

注意



飲食物の保温・保冷以外に使用しない
けがなどの原因になります。



飲食物を飲むときは、保温容器を急に傾けない
飲食物が勢いよく出て、やけどなどの原因になります。



落とす・ぶつけるなど強い衝撃を与えない
けが・やけど・ものを汚す原因になります。
また、保温・保冷不良などの原因になります。



ストーブやコンロなど火のそばに近づけない
変形や変色の原因になります。

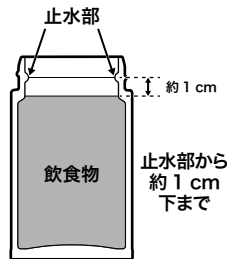


保温容器を電子レンジで加熱しない
金属部がスパークして電子レンジが故障する原因になります。
また、変形や変色の原因になります。



飲食物の量は図の位置までにする

入れすぎてふたを閉めると、飲食物があふれる原因になります。
また、あとからあふれ出すことがあります。



(断面図)



乳製品を含む飲食物や冷製スープは、必ず一度加熱調理をしたものを入れる
腐敗の原因になります。



保温容器には次の物は絶対に入れない

- ドライアイス・炭酸飲料など
保温容器内の圧力が上がり、飲食物がふき出たり、ふたが破損して飛散する原因になります。
- 生もの(加熱していない肉・魚介類・乳製品・卵)など敗しやすいもの
成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、保温容器内の圧力が上がり、飲食物がふき出たり、ふたが破損して飛散する原因になります。



改造・分解・修理は絶対にしない
故障・事故の原因になります。



ふたに専用のパッキンを正しく取り付けられた状態で使用する
漏れてやけどやものを汚す原因になります。



ふたは確実に閉めて使用する
漏れてやけどやものを汚す原因になります。



熱い飲食物を入れた場合は、やけどに充分注意する
本製品は真空二重構造ですので、熱い飲食物を入れても外側は熱くなりません。



使用後は、すぐにきれいに洗い、十分に乾燥させる
洗い残しなどにより雑菌が繁殖し、飲食物を腐敗させる原因になります。

⚠ 注意



飲食物は、できるだけ早く(6時間以内)、一度に食べきる
腐敗の原因になります。



禁止

飲食物を入れた状態で長時間放置しない

- 保温容器はステンレスですが、みそ汁・スープ・スポーツ飲料などの塩分により、さびたり、保温・保冷性能が低下する原因になります。
- 腐敗によりガスが発生し、保温容器内の圧力が上がり、ふたを外すときにふたが飛んだり、飲食物が吹き出たり、ふたなどが破損して飛散する原因になります。
- 腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また飲食物が漏れる原因になります。



禁止

飲食物を入れた状態でふたが開かない場合は保温容器を温めない

飲食物がふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。オープナーなどの専用の道具を使って開けてください。



外出時など充分なお手入れができないときでも使用後は、すぐに保温容器内側を水でよくすすぐ

腐敗によりガスが発生して内圧が上がり、ふたが開かなくなる・飛び出す、飲食物がふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。



必ず専用の部品を取り付ける

漏れてやけどやものを汚す原因になります。



禁止

真空二重構造の内部(真空層)から水の音がする場合は使用しない

真空層に入った水が保温容器の内側にしみ出した場合、飲んで体調不良の原因になります。

品質表示

品名	スープジャー	
実容量	0.21 L	
保温効力	40℃以上(6時間)	
保冷効力	15℃以下(6時間)	
材料の種類	本体	ステンレス鋼
	ふた	ポリプロピレン
	パッキン	シリコーンゴム

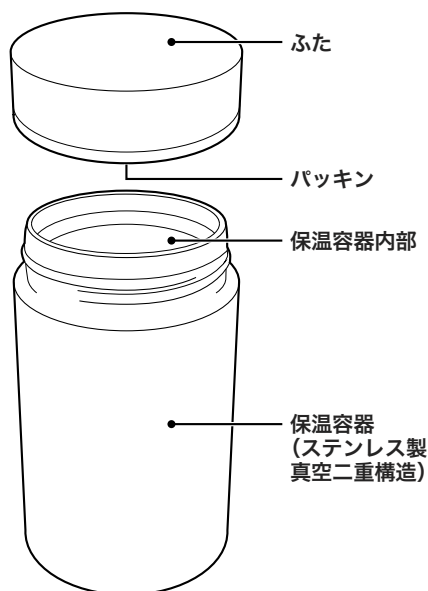
中国製

*保温効力とは、室温 20℃ ±2℃において製品に沸騰水をふた下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が 95℃ ±1℃のときからふたを取り付けて 6 時間放置した場合におけるその湯の温度です。

*保冷効力とは、室温 20℃ ±2℃において製品に冷水をふた下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が 4℃ ±1℃のときからふたを取り付けて 6 時間放置した場合におけるその水の温度です。

| スープジャーの取り扱いについて

各部のなまえ



使用上のお願い

- 冷凍庫に入れないでください。破損や保温・保冷不良の原因になります。
- 熱い(冷たい)飲食物を入れた際、保温容器の外側が熱く(冷たく)なる場合は保温(保冷)不良です。腐敗の原因になりますので、使用を中止してください。
- お出かけ前に、保温容器を逆さにして漏れのないことを確認してください。
- 持ち運ぶ際は万一の漏れを防ぐために保温容器を縦置きにしてください。

使いかた

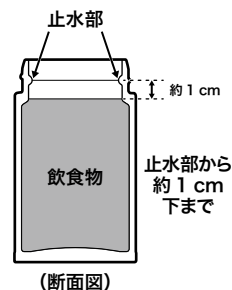
ご使用前にふた、保温容器を十分に洗ってください。

- 1 ふたを外す**
ふたを回して外してください。

- 2 予熱(予冷)する**
保温(保冷)効果をあげるために、あらかじめ保温容器に熱湯(冷水)を入れ、1～2分温め(冷やし)てください。
予熱(予冷)後は、湯(冷水)を捨て、水気をふき取ってください。

- 3 飲食物を入れる**
熱い(冷たい)飲食物を入れます。
飲食物の量は必ず図の位置までにしてください。入れすぎると、ふたを閉めたときに飲食物があふれ出る原因になります。

- 4 ふたを閉める**
パッキンが正しく取り付けられていることを確認して、保温容器を立てた状態で確実にふたを閉めてください。
保温容器を逆さにして漏れのないことを確認してください。



お手入れのしかた

においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- ご使用後は、すぐにきれいに洗い、十分に乾燥させてください。
- パッキンを取り外してからお手入れをしてください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分に乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

ご注意

- 煮沸は、しないでください。熱により部品が変形して漏れてものを汚す原因になります。
- 塩素系漂白剤を使用しないでください。さびや保温・保冷不良などの原因になります。
- 保温容器とふたの外側は、つけ洗いしないでください。塗装などのはがれ、変色の原因になります。
- シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。さびや傷・故障などの原因になります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。

▶ 通常のお手入れ

薄めた台所用中性洗剤とスポンジで洗い、すすいだ後はよく水を切り、十分に乾燥させてください。

汚れがひどいときは、保温容器にぬるま湯と重曹(大さじ2杯)を入れて混ぜて、1時間置いてから水ですすいでください。ふたは取り付けないでください。

▶ パッキンの外しかた・取り付けかた

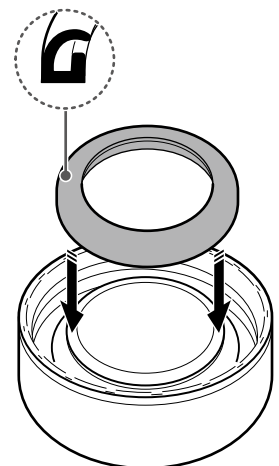
外しかた

パッキンのふちをめくり取り、外します。

取り付けかた

パッキンを右図の向きでふたに取り付けます。

取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく押します。



仕様

品名(型番)	ヒーター機能付きブレンダー (SM-S151 / SM-S151S)	
電源	交流 100 V、50/60 Hz	
消費電力	ヒーター：800 W、モーター：260 W	
質量(約)	2.5 kg	
外形寸法(約)	幅 18 cm × 奥行 15 cm × 高さ 36 cm	
電源コードの長さ(約)	1.2 m	
定格時間	10分(4分間運転、2分間停止繰り返し使用)	
定格容量	800 mL	
付属品	お手入れブラシ、ヘラ、レシピブック、スープジャー (SM-S151Sのみ)	
スープジャー (SM-S151Sのみ)	質量(約)	150 g
	外形寸法 (約)	幅 6.6 cm × 奥行 6.6 cm × 高さ 11.2 cm
原産国	中国	

外観、仕様などを予告なく変更する場合があります。

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

部品・消耗品



部品・消耗品の
ご購入はこちら

「※」がついている部品は消耗品のため、保証期間内でも有料とさせていただきます。プラスチック部品はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。

部品名	部品コード	部品名	部品コード
お手入れブラシ	SM-S100-BR	スープジャー	SM-S100-VC
ふたパッキン(※)	SM-S100-SR		
ヘラ	SM-S100-ST		
電源コード	SM-S100PC		
内ふた(内ふたつまみ付き)	SM-S100UF		

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した製品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後6年（スーパージャーを除く）です。その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

— 長年ご使用の製品の点検を！ —

- 長年ご使用の製品では、電気部品の経年劣化による発煙・発火のおそれがあります。
- ご使用前に必ずご確認ください、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにご連絡ください。点検・修理費用などはシロカサポートセンターにご相談ください。
 - 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
 - 本体が変形したり、異常に熱い
 - ポットのハンドルがぐらつく
- 定期的に「安全上のご注意」や使いかた、ご注意を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

— お客様の個人情報のお取り扱いについて —

- シロカ株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック！



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：ヒーター機能付きブレンダー

お買い上げ日： 年 月 日

型番：SM-S151 / SM-S151S

製造番号：

保証期間：お買い上げ日より本体1年間

販売店：店名・住所・電話

お客様：

ふりがな

お名前

ご住所

お電話

お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでご連絡ください。
ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。
なお食品の補償など製品の故障以外の保証はいたしかねます。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものの提示がない場合。
 - 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含まず）
 - 腐食による故障、及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。
- 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090014

お客様サポート

二次元コードからもアクセスできます

故障・修理のお問い合わせ、修理代金の目安、
使いかた・お手入れなどのよくあるご質問はこちら



部品・消耗品の
ご購入はこちら



シロカ サポート

検索

シロカサポートセンター ナビダイヤル 0570-001-469 受付時間：10:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日を除く）
非通知設定の方は「186」をつけて発信番号通知のご協力をお願いします。サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。